

遊食・選食世代のライフスタイル

～ 遊食世代 (44歳～50歳※) 「イイとこ取りで楽しく」
選食世代 (39歳～43歳※) 「バランス重視で賢く」 ～

都市生活研究所が作成した世代区分「食・世代」では、昭和生まれを9つの世代に分類している。本レポートはその中から、1965～1971年生まれの「遊食世代」と、1972～1976年生まれの「選食世代」のライフスタイルの特徴とニーズをまとめたものである。遊食世代はバブル景気を経験した最後の世代、選食世代はポストバブル最初の世代と言われており、2つの世代の価値観は大きく異なっている。

■ 遊食世代 (1965～1971年生まれ) 「イイとこ取りで楽しく」

- ・ 二十歳前後で経験したバブル景気の頃は、「楽しいこと」「やりたいこと」を優先できた。そのため、人生は楽しくなければ意味がないと考え、面倒なことは避けたいという意識が強い。
- ・ 家事・育児は基本的に妻。子供に手間やお金をかけることを肯定し、特に女性は子育てを楽しんでいる人が多い。
- ・ 「モノ」を所有することに価値をおき、形から入る。楽しいことや好きなことだけでなく、面倒を避けるためにもお金を使う消費志向を持つ。

■ 選食世代 (1972～1976年生まれ) 「バランス重視で賢く」

- ・ 学生時代にバブル崩壊を目の当たりにし、就職氷河期を経験した。バブル崩壊前後の両時代を知っていることに加え、インターネットによる情報の選択を若い頃から行ってきたことから「バランス感覚」や「賢さ」を持ち、リスク回避の意識が強い。
- ・ 「専業主婦はリスク」と考え、仕事も家事も夫婦で合理的に行っている。
- ・ モノを買うときはコスパを重視する。「モノ」を所有することにこだわらず、話題性や知名度より自分のこだわりを重視する消費志向を持つ。

※年齢は、2015年末日時点

調査概要

■ 定性調査①

調査時期：2015年7月
調査方法：日記調査
調査対象：一都三県在住男女
回答者数：40名

■ 定性調査②

調査時期：2015年9月
調査方法：グループインタビュー調査
調査対象：一都三県在住男女
回答者数：20名

■ 定量調査①

調査時期：2015年7月
調査方法：WEB調査
調査対象：一都三県在住男女
回答者数：1800名

■ 定量調査②

調査時期：2015年12月
調査方法：WEB調査
調査対象：一都三県在住男女
回答者数：1800名

※詳細は最終ページ参照